

北陸初開催

# ソフトウェアテスト シンポジウム 2019北陸

ソフトウェアは今日の社会を支える重要な基盤となっています。その一方で、ソフトウェアの問題に起因する様々な問題も数多く発生し、社会に大きな影響を及ぼすようになってきました。そうした背景により、ソフトウェアをテストする技術もより高度なものが求められるようになってきました。このような状況の中、ソフトウェア業界全体のテスト技術力の向上を目指して、「特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会」(ASTER: Association of Software Test EngineerRing) はソフトウェアテストシンポジウム (JaSST : Japan Symposium on Software Testing) を全国各地で開催しています。

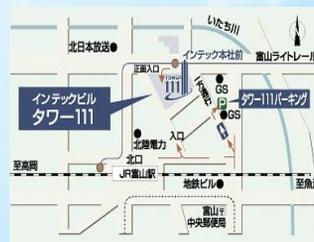
今回は北陸地区における記念すべき初開催となります。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

2019  
1/25 FRI. 13:30~17:00 (開場 12:30)

**会場** タワー111ビル 3F スカイホール

**定員** 100名 (事前申し込みが必要です)

**参加費** 一般 : 3,240円 (税込) 、 学生 : 無料



※公共交通機関でお越しの方 ▶ あいの風鉄道富山駅北口より 徒歩5分

お車でお越しの方 ▶ 会場近くの「タワー111パーキング」または近隣のコインパーキングをご利用ください。

学生の方 ▶ 当日、受付にて学生証をご提示ください。

**主催** : 特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)  
ソフトウェアテストシンポジウム2019北陸 実行委員会

**共催** : 特定非営利活動法人 ITコーディネータ富山

**協賛** : 株式会社SHIFT、富士通株式会社、株式会社ベリサーブ、  
株式会社インテック、JSTQB、株式会社富山富士通、  
株式会社日本オープンシステムズ、株式会社富士通北陸システムズ、  
北電情報システムサービス株式会社

● ITコーディネータにつきましては、実践カポイント1.5ポイント(3.5時間分)を付与・受講修了証を発行いたします。

## ▼ お申し込み方法

JaSSTホームページ (JaSST'19 Hokuriku) にてお申込みください

<http://jasst.jp/index.html>

# プログラム

12:30～13:30	受付	
13:30～13:35	開会宣言	
<b>基調講演</b> 13:35～14:35	<b>開発プロジェクトにおけるテストマネジメントの基本と実践</b> <p>ソフトウェアテストは、ソフトウェア開発の中で平均して40%以上の工数を占めると言われています。テストを効率的に行いコスト削減することが開発コストの削減に直結します。しかし、現場では「テスト工数が足りない」「品質が確保できない」といった課題があることも多く見受けられます。</p> <p>本講演では、課題の原因をテストの基本的な考え方とともに説明します。また、テストマネジメントに携わる立場から、これらの課題に対処していく実践例をご紹介します。</p>	 湯本 剛氏 特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会
14:35～14:45	休憩	
<b>招待講演</b> 14:45～15:45	<b>そのレビュー、大丈夫ですか？ ～現状レビューの問題発見・解決</b> <p>レビューは、欠陥検出・予防、生産性向上などへの有効な活動として多くの方たちに認識され、日常業務で実践されている方も多い状態だと思います。しかし、時間が無い、責められるのでイヤだ、有識者がいないと指摘が出ない、時間ばかりかかる、効果が実感できない、などの声が多いのも事実です。今回は受講者のみなさんと一緒にSaPID(*1)を活用して現状のレビューをふりかえり、その場で解決すべき問題点や効果が期待できる解決策等を持ち帰っていただきます。</p> <p>*1：自律運営組織構築・変革のための共創プログラムSaPID <a href="https://www.software-quasol.com/sapid3-0/">https://www.software-quasol.com/sapid3-0/</a></p>	 安達 賢二氏 株式会社HBA
15:45～15:55	休憩	
<b>セミナー 1</b> 15:55～16:25	<b>ユーザ事例から見るテスト自動化ツールの効果的な活用方法</b> <p>テスト自動化ツールを最大限活用することで以下のような効果を発揮されているお客様事例を説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 回帰テストを自動化することでシステム改修時のデグレード防止と品質向上を実現</li><li>■ 負荷テスト自動化によりパフォーマンス関連のシステムトラブル数が減少</li></ul> <p>また、事例から垣間見えるツール活用の勘所を余すところなくお伝えします。</p>	株式会社アシスト
<b>セミナー 2</b> 16:25～16:55	<b>ツールを用いたテスト自動化と継続的インテグレーションの実現</b> <p>UIテスト自動化ツール「Ranorex」、および、CI（継続的インテグレーション）ツール「Jenkins」のご紹介と合わせながら、属人的なテストの削減とCIの導入ステップについてご紹介いたします。</p>	テクマトリックス株式会社
16:55～17:00	閉会宣言	

※プログラムの内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください

## ▼お問い合わせ先

JaSST'19 Hokuriku 実行委員会事務局

e-MAIL: [hokuriku-query@jasst.jp](mailto:hokuriku-query@jasst.jp)